

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和5年11月15日（水）13時30分～15時05分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
審査グループ 研究炉等審査部門
有吉上席安全審査官、真田安全審査官、上野管理官補佐、大島原子力規制専門員
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
敦賀廃止措置実証本部 副本部長 他3名
高速増殖原型炉もんじゅ 所長代理 他9名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
6. 配付資料
資料1 もんじゅ廃止措置計画 第2段階計画の具体化

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	それでは本日問題ありますのでよろしくお願いします。よろしくお願いします。お願いします。この方から資料の説明をお願いします。了解いたしました。まず最初の面談ということで実施。これまでもんじゅの廃止措置計画について廃止措置。
0:00:18	5年間の方で変更届の方で記載しておりましたロードマップでは磯知のロードマップについて、この度第二段階の前半後半に向けて、
0:00:30	後半に向けて、ロードマップの具体化をしてきましたので、そちらの紹介をさせていただきます。また、あわせて廃止措置のロードマップの具体化に合わせて、今回、今後廃止措置の変更。
0:00:45	届けの範囲を示していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。それではマツイの方から説明させていただきますはい、原子力機構の松井ですよろしくお願いいたします。表紙めくっていただきまして、目次の方になりますが、
0:00:58	1234 という構成で資料の方構成しております。これまでの経緯、
0:01:03	それから、2 ポツレモンに廃止措置計画全体像における各段階の位置付け。
0:01:08	それから産物です、第二段階後半の収支作業になります。バルクナトリウムの搬出、それからナトリウム設備の本格解体着手準備と、これらの概要をご紹介させていただきます、最後に、
0:01:20	もんじゅの特徴を踏まえた今後の廃止措置計画検討の基本方針というところの考え方をご説明いたします。
0:01:28	植田Dとスライドの2のところに行きます。これまでの経緯というところにございます。
0:01:34	2016年12月にですね、もんじゅの取り扱いに関する政府方針というものを受けまして、原子力規制委員会の方からもんじゅ廃止措置計画の審査の考え方。
0:01:46	それから、もんじゅ廃止措置推進チーム、政府の方からですね、廃止措置に関する基本方針というものが示されましたので、下の図の左青枠の中にですね、こういったそれらの、
0:01:59	の中に、本当少しですけども、紹介しております。こういうものに基づきましてですね、もんじゅの廃止措置というものを今まで下のように進めてきたと。
0:02:12	いうところで一つ目の矢ばね、炉心等のトリング中に燃料体が残った状態で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:18	当時は廃止措置に移行しておりますので、廃止措置の第一段階では、燃料体という作業を実施いたしました。
0:02:25	そして、炉心等に燃料体を保有するリスクというものを早期に低減するためにですね、施設の運転保守管理こういったものは、基本的には運転段階に準拠した体制というところで作業を行いまして、
0:02:38	廃止措置の計画通りに取り出しを完了しております。
0:02:41	それから本年4月に移行した廃止措置の第二段階、では、バルクだトリウムの搬出、それからナトリウム機器解体の準備というものを完了いたします。このうち、第二段階前半で実施する遮へい体等取り出し作業につきましては、
0:02:56	燃料体等作業と類似するものとなりますので、第一段階の体制を基本に、必要な見直しを行うということで、今年の2月、
0:03:06	認可を取得しまして、現在作業を実施中というステータスでございます。
0:03:11	第二段階の後半につきましてはですね、さらに本格的な廃止措置というものの開始となりますので、これをもんじゅの特徴というものを踏まえつつですね、プラントの状態。
0:03:23	実施する排出作業想定すべきリスクの変化、こういったものに対応した廃止措置計画を検討中ございまして、今回、懇談会の後半についての、
0:03:34	これまで検討してきたものも含めてですね検討状況というものをご説明したいというふうに考えてございます。
0:03:40	下の緑色のところがですね、機構の中の対応というものになってございまして、青色に対して、原子力機構で廃止措置計画等を定め、それに基づき実施していると。
0:03:53	で、青字で書いているところがですね、今上げ今進行中のところと、
0:03:58	いうところでございます。
0:04:03	それからページめくっていただきまして、スライド3というところになります。
0:04:08	こちらがですね、もんじゅ廃止措置計画全体像における各段階の位置付けというタイトルにしてございまして、
0:04:15	もともとですね廃止措置、初回の認可、
0:04:18	申請の時に、第4段階に分けて、進めていくというところは、あったんですけれども、それを、第二段階に入るときにですね、それぞれの段階で、
0:04:29	どういうところ、全体像の中で、それぞれの段階がどういう一撃になるのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:36	というようなところを整理してきたものでございます。
0:04:40	で、山根第一段階から第4段階と書いてございましてそれぞれの段階の位置付けというのを簡単に説明した文章がございます。
0:04:50	第一段階では燃料体取出しを完了して、燃料とナトリウムの体系を排除すると、これはすでに達成した事項ということになります。それから第二段階は、
0:05:01	先ほども申し上げた通りですねバルクナトリウムの搬出を完了するとともにですね、トリウム設備の本格解体着手の準備を完了というフェーズが第二段階と。
0:05:12	ということになりますし、それから第3段階で、燃料だとか、そういう設備の解体廃棄物、そういったものを配置を完了しまして第4段階で建物解体を。
0:05:23	手配措置を超えると、これを2047年度までに実施していくというのがもんじゅの廃止措置計画の全体像になってございます。下の方ですね、はい措置計画の全体像と、こういうところで示して、
0:05:38	おりますが、色分けがしてあります。赤井を、
0:05:44	のところはですね、燃料に関するような部分。
0:05:48	それから、緑色で記載しているところはですね、ナトリウムのバルクナトリウムの搬出に向けての関連する事項。
0:06:00	それからオレンジ色の記載が、ナトリウム設備の解体準備に向けた事項。
0:06:07	そして、ピークが、廃棄物の準備等に関する事項、そして、黒字のところはですね、施設の運用だとか、そういったところに、
0:06:18	関する事項とかそういうレベルでございます。
0:06:23	青点線枠で示しております、図中に、バルクナトリウムの搬出のところ、それからなっている設備の解体と青点線枠で囲っておりますけれども、今回ですね、この、
0:06:37	これからの検討の基準、廃止措置計画の変更認可申請の、等々機構の方で考えている進め方そういったところも含めてですね、今回この資料の中で、
0:06:48	少し決めさせていただきます。
0:06:52	続きまして4ページ目になります。
0:06:55	ここからは第二段階後半の主要作業の概要というところでございます。丸熊取の搬出と、あと、後半は夏目設備の解体準備。
0:07:05	これらに関する内容を少し紹介いたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:10	4 ページ目のスライドですけれども、右肩に第 40 回監視チーム会合資料内容更新とあります。下線部が更新箇所というふうにしてございます。次に、
0:07:22	第 40 回の監視チーム会合で示した図。
0:07:28	ここにですね、それからの検討で進んだところ、そういったところを下線で示しました。
0:07:36	まず⑨マツイの搬出につきましてはですね、これ第 2 段階の搬出対象ナトリウムというサブタイトルをつけてございますけれども、
0:07:44	2028 年度に非放射性のバルクナトリウムの障害搬出を開始開始し、2031 年度にすべてのバルクナトリウム所が違反し作業を完了させ、
0:07:55	名取の保有に伴うリスクを低減すると、これはすでに廃止措置計画の認可申請書に記載している事項ということでございます。
0:08:05	表の下の、いわゆる表の部分でですね、第二段階の搬出対象ナトリウムと、
0:08:13	こういう欄が右の方にございます。
0:08:16	で、この中でですね、下線のところが 2 ヶ所をありまして、一つが青字、これは非放射性ナトリウムに関するところでございますけれども、
0:08:27	第二段階の改修ナトリウムと、
0:08:30	大井安江と米野さんというところで、下の方見ていただくと、バルクナトリウム以外のナトリウムのうち第二段階で回収可能なんだったらいいんだと、これを指しているんですけども。
0:08:41	これも目標につきましては、主にタンクの底部、ここにたまるものを目標に、第二段階中に回収しようというふうにして今、
0:08:53	検討を進めているところでございます。それから赤字のところは放射性のというふうになるところなんですけれども、こちらの第一段階回収可能ナトリウムというところもですね、主にタンク底部、それから燃料移送ポートない。
0:09:07	こういったところを目標にして、改修をしていこうということで、今、規定の中で取り組んでいるというところで追記をさせていただきました。
0:09:19	その後譲渡情報は、第 40 回の監視委員会後の資料の内容というところになってございます。総量はですね、5665 トン。
0:09:30	という合計がございまして、それぞれバルクナトリウムを軽くなってる以外もなっており、その内訳が 1588 と 77 というところが現在のステータスになってございます。
0:09:44	それから次のページではですね、バルクナトリウムの搬出に向けてのですね、作業のプロセスというものを少しご説明したいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:55	バルクナトリウムの搬出完了に必要な作業のプロセスというものを、下の図、それから①から⑤というところで示しております。
0:10:07	文章中とずっと田井久見比べていただきたいんですけども、まず、
0:10:14	最初のステップ①のところで、系統の設備から、既設のタンクへのバルクナトリウムの抜き取りと、
0:10:22	いうものをまず行います。
0:10:25	そのあとですね、既設タンクに入ったものを、最後、輸送用のISOタンク、これISOタンクへのバルクナトリウムの抜き出しと。
0:10:37	こういうものを次のステップでやります。
0:10:41	で、③のところはですね、バルクナトリウムを抜き取った後、ここで構造上残る、なっており、そういったところの系統設備に残留した。
0:10:54	残留ナトリウムを回収すると、こういう作業でこの残留ナトリウムと今申し上げたのは、前ページの※3 のところで説明いたしました、バルク以外の名取のうちの第二段階で回収可能なあたり、ここに該当するものを、
0:11:10	を回収するというところになります。
0:11:13	それから④で、回収したナトリウムの保有輸送用のISOタンクへの回収等の打ち出し、
0:11:20	それから、ISOタンクと、ナトリウムの受け入れ先であるA国へ搬出するナトリウムの搬出輸送、こういう作業のプロセスを進めていくというところになりますので、途中の、
0:11:34	右下の注釈を、
0:11:36	示してあるんですけども。
0:11:39	まずは作業の全体イメージを示したものということになってございます。
0:11:44	③とか④のところ、改修残留あたりの改修に関するところですね、ここににつきましては、既設タンクの代わりにですね、もしかしたら小型の仮設タンク。
0:11:56	こういったものを使用する可能性、或いは、系統設備からも直接、ISOタンクへ抜き出すと、そういう可能性も含めてですね、今、検討中というところでございます。
0:12:08	それから、①から⑤という順番わかるんですけども、⑤のバルクナトリウムの夏目の搬出移送これにつきましてはですね。
0:12:21	バルクナトリウムを抜き出した後、
0:12:24	不法に一旦移出搬出する輸送する場合もあると。これどういう意味かと申し上げますと、1、①、②、⑨等にも、
0:12:34	をまず抜き出して、もうバルクナトリウムだけをまずは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:39	出していき、で、またその間に③とか④を作業をやって、
0:12:45	⑤につなげる、そういう①②⑤或いは③④⑤というそういうパターンもあり得ると、そういう説明を書いています。
0:12:57	それから、本文の 2、二つ目の黒丸になりますけれども、バルクナトリウムの搬出に向けて、多くの机上検討を実施しているところです。この現場工事等を含めた事前準備を確実に進めて、バルク間というものを搬出作業を安全確実に、速やかに実施すると。
0:13:16	というような目標でございます。次ページではですね、バルク等の搬出に係る基本スケジュール、或いは橋村検討手順、そういったところを、
0:13:26	ご説明させていただきます。
0:13:30	それから 6 ページ目に移ります。ここに示しておりますのはバルクナトリウムの搬出に係る基本のスケジュールということに、とところでございます。
0:13:41	バルクは非放射性を 2028 年度から搬出して、2031 年度までに、放射性も含めてすべて廃止すると、それがまず基本のスケジュール目標と、
0:13:53	ということになりますんで、そこに向けてですね、中央クリティカル工程、こういったものを少し詳細化したものが、下の基本スケジュールというところになります。
0:14:05	まず主要クリティカル工程をですね、安全、確実に、9 年間と申し上げているのは、2023 年度から 2031 年度まで、
0:14:16	この期間になります、この期間で実施し、バルクの搬出を、2031 年度に完了すると。
0:14:23	いうことでえて四つございますけれども、まず遮へい体等の取り出し作業をこれをですね、2026 年度までに、約 600 体の遮へい体等の取り出し作業。
0:14:33	5 年間で実施して参ります。
0:14:37	で、非放射性ナトリウムの抜き出し搬出作業、こちらにつきましては、2028 年度からの抜き出し搬出と、
0:14:47	いうのを目指しまして、その設備の整備の準備、から抜き出しの搬出、これまでを 4 年間で実施。2025 年度から 5678 の 4 年間。
0:15:01	この期間で非放射性バルクナトリウム、
0:15:04	につきましては現場工事等も含めて、対応していくと。で、その前にですね、必要な許認可、認可を終えて、現場の工事に移っていくと、そういうことを今想定しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:17	それから放射性ナトリウムにつきましてはですね、その2年遅れといえますか、2027年度から、現場の設備の整備の準備、改造工事そういったもの。
0:15:30	に取りかかりまして、2031年度までの5年間で実施して参ります。放射性につきましてもその前に、認可、必要な人を超えて、現場の工事に取 りかかっていくと。
0:15:42	そういう想定でございます。
0:15:45	それで、抜き出し搬出に向けた体制の整備ですとか、事前の訓練、そ ういったところをですね、改造工事期間を利用して、実施していきたいとい うふうに今考えてございます。
0:15:58	庄野、一番下のところはですね、
0:16:02	残留ナトリウムの第二段階中の改修と、こういう欄もあります。こちらに つきましては、改修に向けた検討、先ほど申し上げた通りですね、燃料 移送ポットですとか、
0:16:15	タンクの程度にあるところ、そういったところの検討を並行して進めて、 それができ、改造工事ができるタイミングなるナトリウムの。
0:16:25	抜き出し搬出の隙間、そういったところをねらいながら、
0:16:31	改修の対応を進めていくと、こういうところで、今考えてございます。
0:16:37	それから、一番下の括弧書きのところはですね、搬出するナトリウムに つきましてはA国で再利用と、こういうことになりますので、切り子等の 不純物、こういったものの購入を避けるというのが重要でございますので、
0:16:50	穴あけ等は、基本、基本的にはせずに、汲上たり或いはオーバーフロ ー、そういったものによって、回収をしていくと。
0:17:01	いうものが基本スタンスというふうになります。
0:17:06	これが基本のスケジュールということでございます。
0:17:11	そして、7ページ目になりますけれども、
0:17:15	こちらがですね、先ほど基本スケジュールと、関連して、廃止に向けた 検討手順と、
0:17:23	こういうことになります。この中ではですね、申請のタイミング、あとそれ からどういう内容を認可申請していくのか、そういったところも含めて、
0:17:36	記載しているページということになります。
0:17:39	増え3分の2ぐらいが、バルクナトリウムの搬出に関するところで、下3 分の1ぐらいが丸くなっていると、搬出する残留ナトリウムの改修。
0:17:49	それで大きく分けて記載をしています。そして右肩の方、右上の方にで すね、凡例と、こういうものを示しております、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:59	資料、
0:18:01	枠で白抜きのところ、そこが検討の内容と、
0:18:06	いうものを書いてあってその下のグレーのハッチングしてあるところが、その検討結果で出てくると、それがまた次の検討内容に繋がって、また結果が出てくる。
0:18:17	そういったところを含めて、必要なものを廃止措置計画のところに記載しております。そういうイメージでこちらの図は作っております。
0:18:28	まずですね、第6名というのは室のところでございますけれども、最初の基本計画の検討というのがまず入ります。ここではですね、まずISO輸送用のタンク。
0:18:40	これをまずどこに置くのか、そういったところの、まずそこから始めることが、そこに繋がる配管のか、ルートどうするかとかそういうことに繋がって参りますので、まずそこ。
0:18:53	ケーススタディーで固めていくと。
0:18:56	そこは設備の改造であったり、新設の範囲であったりそういったものを比較検討しながらここは決めていくことになります。
0:19:04	で、あとはそこ不足場所が大体固まりましたら、まとめの漏えいとか想定リスクとか、そういったところも、
0:19:12	検討をしまして、そういったものから、設備の設計をどうやってやっていこうかというようなところをですね、決めていくと。
0:19:22	いうところで、配置の設計の方針であったり、新設設備をどういう設計でやっていくかと。
0:19:28	あとオールエイジの対応方針をどうするか、そういったところをまず検討結果で出していきます。
0:19:35	で、あとは、輸送銅鐸のISOタンクの設置場所が決まれば、そこまで、どういうふうルートで持ってくるのか、あとは抜き出しの方法ですね、ガス圧送。
0:19:49	ですとかポンプを使うのかとか、そういったところのケーススタディーを行います。あとは、タンクそのものを、サイト内の中でどういう物流で、
0:20:00	取りまわしていくのか、そういったところを検討しながら、検討しまして、移送搬出ルートを選定というところで、ナトリウムの移送ルートや抜き出し方法。
0:20:12	それからISOタンクの搬入、搬出ルート、こういったものを含めていくと。
0:20:18	そういったところが、基本的なところが固まりましたらですね、具体的な設備の、この詳細な設計に入っていくということになります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:28	最初は非放射性の方が、先に行きますので、まずは非放射性の、ナトリウムの抜き出し設備の設計。
0:20:36	あとは、
0:20:39	配送タンク並びに関連設備の設計でここはもし放射性と、共通する部分があれば、ここは一緒にやってしまうというところで、
0:20:48	それから、一時保管用タンク、
0:20:52	一時保管施設ですね、タンクを一時的に保管するような場所の設計ですとか、あとは全体的な安全確保方策、こういったところを検討しまして、
0:21:02	最終的には各設備の使用、それから作業の安全管理、これを具体化すると。
0:21:08	いうステップになります。
0:21:10	1回、まず最初2025年の3月、認可目標と書いてございますけれども、非放射性ナトリウムに関するところで、ナトリウム抜き出し室の方法ですとか工程。
0:21:23	あとは、設備、安全管理、こういったところを、対象地計画の中に記載して、認可を終えていこうという想定で書いてございます。
0:21:34	その次が、放射性ナトリウムになりまして、大体やることは大体非放射性と似ているものになります。放射性なので、当然、管理区域。
0:21:48	イの話だとか、そういったところを追加して、そこは具体化していくと。放射線のナトリウムのところにつきましては、
0:21:58	大体その2年後ぐらいに、民間を目標にして、現場工事に入っていきたいというところで今考えております。
0:22:07	下の残留のための回収のところですね、まず、限られた期間でやっていけないといけないというところもありますので、抜き出した、改修した時の効果が大きいようなところはどこかと。
0:22:23	というようなところを、まず概念の検討、そういったところを進めまして、回収の範囲の絞り込み、それから、オーバーフローとか組合を基本とすると。
0:22:33	先ほど申し上げましたけれども、朝の回収方法の概念検討、そういったところをしながら選定をしまして、
0:22:43	ターゲットをどうするかというようなところを今回、2025年3月3日目標というところで、出していきたいというふうに考えております。あとはですね。
0:22:54	具体的な設備のを含めて、基本詳細検討を進めまして、それぞれ適切なタイミングで認可を進化申請をして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:06	認可を受けていくと、そういう想定で、今検討しているところでございます。
0:23:12	まずここまではですね、外部ナトリウムの搬出に関するですね県、
0:23:19	今後の申請も含めた説明というところでございます。
0:23:26	1ページ以降、この2枚がですね、次ナトリウム設備の報告解体着手準備。
0:23:32	いうページになります。
0:23:35	まずですね、ナトリウム設備を解体するということは40、国内初のなんていうものの、
0:23:46	廃止措置というところもございますので、そういったところも含めてですね、ちょっとしっかりやっついていかないといけないと。
0:23:54	ということで考えています。で、下の8ページの下半分の図、ここはですね、ナトリウム設備解体に関連する主要なプロセスと、第一段階完了条件等の関係とを書いてございますが、
0:24:09	まず名取設備の解体というのはどう、どういう全体像なのかというのをこの下の図で、簡単に表しております。ナトリウム設備。
0:24:21	という丸オレンジの丸からスタートしまして、まず最初車対等の取り出しがあります。これは脱硫設備の供用を完了するためのステップということになります。
0:24:35	で、協議を完了したナトリウム設備からですね、ナトリウムの抜き取り抜き出し改修緑のベースの形のところですけども、こういったところを、
0:24:47	進めて、これはバルクナトリウムの排出というところに繋がっていきます。で、さらに抜き取り抜き出し回収というところから右に進むと、抜き取り済みのナトリウム設備と、
0:25:01	いう丸があります。これは最後、やはり解体する前に、まだ残っているナトリウムというものをありますので、
0:25:11	それがですねそのまま右に行きますと、さらに、残留ナトリウムの回収、それから、残った薄膜状で残っているものですかそういったものも含めて、
0:25:24	残留建ての処理安定化ですね、こういったものをまず実施すると、そのあとをかけ解体撤去。
0:25:35	をいたしまして、解体物のを、
0:25:39	さらに裁断が必要であれば、切断、それから最後、綺麗にして洗浄、そういうプロセスになります。
0:25:47	ピンク色のところがですね、放射性廃棄物の、
0:25:52	に関するところになりますので、その背切断扇状を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:58	で発生する。
0:26:00	放射性廃棄物、こういったものは当然、廃棄物の処理と。
0:26:06	いうものをしていかないといけませんし、そのためには、それまでに準備をしっかりとしておく必要があるというところで、ピンクの点線枠のようなところは、出てきます。
0:26:17	で、一番下の施設分与のところは、その時々に応じた、市、
0:26:24	設備の最適化、そういうところをしっかりと、この解体のところにですね、労力を割けるようにするというのも重要な役目ですので、そういったところもやっていくと。
0:26:37	いうところでございます。
0:26:39	鳥の設備の解体もんじゅとしてもですね、あまり経験がないところにもなりますので、まずは、
0:26:49	小さなナトリウムの系統から順々にやっていきたいと。
0:26:53	そこで経験、等々、実証技術の実証、そういったものを積んでステップアップしながら進めたいという考えがございますので、第二段階のところですね。
0:27:04	小規模システムの機器の解体、こういったものを入れながら、そこで必要な技術というところを、経験も含めてですね、蓄積して進めて参りたいというところが、
0:27:19	基本の考え方ということになっています。
0:27:23	ちょっと上の方に書いてございますのはですね、第二段階の完了条件として、バルク等の搬出完了に加え、ナトリウム設備、本格解体を、
0:27:34	第3段階に着手するための各種準備作業の完了を設定したというところでこちら、廃止措置計画の別添資料等でも、示してございます内容ですね。
0:27:45	完了条件の②、それから完了条件の③、④、そういったところに、要約して書いているということになります。
0:27:59	それで、ちょっとめくっていただきまして9ページ目。
0:28:03	につきましては、前ページ8ページと、内容、類似している部分も多くございますけれども、本格解体に向けた検討手順と、
0:28:14	いうところで示してございます。
0:28:18	第二段階の準備作業の内容というのは第3段階に行うナトリウム設備の本格解体の計画に基づいて設定していきます。
0:28:27	で、この本格解体の計画の策定に当たりましてはですね、以下の特徴に留意すると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:32	いうところで、一つ目の小さなポツが、我が国初の、原子炉施設の通りの設備解体であり、解体技術基盤の整備、適用にあたっての検証作業の集中が必要。
0:28:43	これが先ほど私が申し上げました、小規模系統で、実践していくというところに該当します。
0:28:50	それから二つ目の小さな交通のところは、タンク配管ポンプ等の共通的な機器のほか、炉容器工業トラップ等の特殊機器、こういったものもございまして、
0:29:01	ここはまさにそうなんですけれども共通的な機器は、二次メンテナンス冷却系、これが小規模系統になるんですけれども、こういったところ、
0:29:11	そこから二次系地形というふうに、段階的に、解体技術の検証習熟というものを進めていきますので、そういうものが可能である一方で、特殊機器につきましてはですね、個別に、
0:29:24	技術開発検証、習熟、そういったものも当然必要になってきます。
0:29:30	解体作業のためにはですね、エリアルートの確保、あとは設備の整備、こういったものも必要でございまして、
0:29:36	これは解体によって発生する廃棄物の管理、あと放射性であれば放射線の管理、
0:29:44	また施設の運用計画、要員計画、そういったものと、密接に関連するのでそういったところとの整合も図りながら、準備を進めていく必要がございましてというところでございまして。
0:29:57	状況を踏まえまして、系統設備の解体順序に応じて段階的に本格解体の計画というのは具体化していきたいというふうに考えています。
0:30:08	下の図のところはですね、今説明してきた内容をですね、いろんな関連があるというところを図式化したものでございまして。
0:30:20	一番下枠のところはですね、検討結果を段階的に廃止措置計画を反映と書いてございましてけれども。
0:30:28	解体の準備、につきましてはですね、これもステップごとアースティックとか、順次、変更認可申請をしていきたいというふうに考えておりました、まず直近では、
0:30:42	2025年3月の認可目標というところは、二次メンテナンス冷却系の解体方法とか安全管理。
0:30:50	あとは非放射性の注入設備の物流の整備計画ですとか、
0:30:54	間瀬裁断新城設備の設置の計画、そういったところを、
0:30:58	すいません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:00	両方認可を終えてですね、そのまた2年後ぐらいを目途に、今度は錦絵ナトリウム機器の解体の計画。
0:31:08	どういうところから解体をしていくのかだとか、安定化はどういうところをメインでやっていくのか、そういったところも含めて、大枠の解体計画のところを、
0:31:21	等変更認可を終えて、また、さらに2年後2029年3月の認可目標というところでは、個別の機器の解体方法安全管理、そういったところも、
0:31:34	に変えていくと。で、さらに放射性ナトリウム設備の解体計画につきましても、この時期ぐらいに、廃棄物の処理設備の整備計画と、ともにですね。
0:31:46	を示していくと、そういうステップで今考えてございます。
0:31:51	ここまでは名取の設備の解体着手準備に関する内容です。最後、10ページ11ページのところでですね、もんじゅの特徴を踏まえた今後の廃止措置計画検討の基本方針と。
0:32:04	そういうところで、これから第二段階の後半を検討していくためのですね、本児としてのスタンスというものを説明したいというふうに考えています。
0:32:16	最初基本方針策定の考え方ということでスライド10ですか。
0:32:21	まず廃止措置段階ごとにですね、基本方針策定が必要だというふうに考えています。それは、これまでもんじゅの廃止措置は、第一段階は燃料体取出し作業、最優先に進めて参りましたけれども、
0:32:36	取り出し作業完了と。
0:32:38	いうところですね、想定すべき地区災害リスク、あとはプラントの現場の状況というものが大きく変化したというふうに考えてございます。
0:32:48	で、さらに今後の廃止措置の進捗によって、想定すべき原子力災害のリスクとか、プラント現場の状況というのは変化する一方で、廃止措置を進めるために、
0:32:59	実施する作業が団体ごとに異なって参ります。従いまして作業安全、工程遵守、そういった観点からもですね、配慮すべき事項というのが生じます。
0:33:10	今後の廃止措置を安全確実、速やかに完了するためにはですね、もんじゅの特徴というのを踏まえて、廃止措置段階ごとに、廃止措置実施における基本方針と、
0:33:21	いうのを策定して、これに基づいて廃止措置計画を具体化していくことが、門司にとっては、ベストな選択だというふうに今考えています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:32	黒マルの二つ目のところでございますが、廃止措置段階による状況の変化及び対応の例というところで、最後、参考資料の1から3に、参考資料をつけてございますけれども、
0:33:45	簡単にどういうものがあるかというのを挙げてみました。まず想定すべき原子力災害リスクというところは、燃料体取出しが完了したことによってですね、
0:33:56	放射性物質を内蔵する燃料体と化学的に活性なナトリウムと共存を解消できました。
0:34:03	あとは燃料体の崩壊熱、減衰によってですね、燃料域での燃料体破損リスクというのを大幅に低減してございます。
0:34:13	また、今後ですね、第二段階でバルクナトリウムの搬出を完了すれば、夏井漏えい等による放射性物質漏えいリスク、こういったものを大きく低減するというふうになります。
0:34:25	あとプラントの状況でございますが、第一段階までに実施してきた補正分評価の結果ですね、第二段階の移行時点で、有意な表面汚染がないということも、文字の中で確認できております。
0:34:41	またナトリウム、一次系ナトリウムに関しましては、放射性物質濃度、ナトリウム22が今メインでございますけれども、今この辺りの22の濃度が、2022年の4月に分析した事例でございますね、約1.5ベクレルパーグラムと。
0:34:59	ということになっています。これは周辺公衆に対する放射線被ばくのリスクは十分小さいと。
0:35:06	ということになります。さらに求める22の半減期は2.6年ということでございますので、一次系のナトリウムを搬出する2030年ごろ、
0:35:16	ここにはですね、さらに、1桁程度、小さい値になるということは、想定できます。
0:35:23	設置不配布作業のところは、配布作業実施のためにですね、説明の整備、作業スペースの確保。
0:35:31	あとは物流経路整備等のハードせ、ハード的な整備も必要。
0:35:36	これは作業員が、注入設備に進出して、作業を行うという場面が多くなりますので、こういったところによって、労働安全等の作業安全に関連した対策が必要になってきます。
0:35:51	設備と、こういうものは先ほど、前ページのところでも示しました通りですね、作業ステップが多いと。
0:35:59	いうのも特徴でございますので、そういったところも特徴として挙げられます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:04	最後原子力災害防止のための安全確保の考え方につきましては、運転段階におきましては、原子力災害防止のために、原子炉施設等の技術基準に適合するように、保守運転を管理して参りました。
0:36:19	第一段階においても、運転段階、燃料取扱作業管理を基本として、燃料体と作業を実施して参りました。
0:36:28	で、第二段階以降におきましては、安全確保かつ速やかに廃止措置を完了するため、各時点の想定すべき原子力災害のリスク、プラント現場の状況、実施作業の内容。
0:36:40	こういったものに応じまして、安全確保の考え方を最適化していくと、いうことが必要というふうに考えております。
0:36:50	最後、11 ページになりますけれども、安全確保の考え方というところで、すでに 10 ページで述べた内容をと重複する部分も多い、いいんですけれども、この安全確保の考え方と、
0:37:07	いうのはですね、もんじゅの特徴と、敗訴近く段階のプラント状態、作業内容の変化を考慮して、見直していく必要があると。
0:37:16	した後、
0:37:19	ところにですね、もんじゅの特徴と、
0:37:22	こういう枠を作りまして、12315 六戸を青い箱で並べております。
0:37:29	で、上の三つのところはですね、もんじゅの運転実績からくる特徴で、運転期間が短くて、停止後長期間経過していると。
0:37:40	いうところも、事実から来る、もう事務局長、それから、下の大町、三つ目は重複していますけれども、下のところはですね。
0:37:50	鳥井室というところから来る特徴、それを並べてございます。
0:37:56	で、こういった所を一つ一つの特徴から、廃止措置で配慮すべき視点というのをその右に書いてございまして、
0:38:06	今、機器の前程度が低いので、解体の時には、それを上を見に各拡大しないようにですね、しっかり汚染拡大防止をとっていかないといけないですとか、
0:38:18	ナトリウムであればですね、もんじゅのナトリウムの一次系のナトリウムの放射性物質の濃度、そういったところもかんがみてですね、放射線管理を最適化していくと。
0:38:31	いうところも必要となります。
0:38:34	通説作業、ナトリウムの健康被害リスクというところからくる、配慮すべき指定につきましては、ナトリウム漏えいを防止するための設備の設計であったり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:47	現場の状態作業内容に応じた安全確保、こういったところが重要になってくるというふうに考えてございます。
0:38:54	これらですね、廃止措置で配慮すべき視点というところを、これから第二段階の後半でやっていく、ナトリウム、バルクナトリウムの搬出、
0:39:08	或いは、第3段階に本格化していくナトリウム設備の解体、そういったところへ、どうつなげていくかというところで、その緑色のところはですね、バルクナトリウムの搬出完了。
0:39:21	に向けての、例えば設備の設計方針であったり、オレンジ色の枠、につきましては第3段階に向けての検討の方針、そういったところ。
0:39:32	をまとめてございます。
0:39:35	まず、緑色の名取の端設備の設計方針という部分につきましてはですね、本日の年代資料の中では、まだ詳細には、
0:39:46	紹介することはないのですが、次回以降の面談の中でですね、こういったところの考え方をご説明させていただければと。
0:39:57	いうふうに思っております。
0:40:00	このようにですね、本としては廃止措置各段階ごとにですね、安全確保方策を具体化しながら、廃止措置計画に移籍反映して進めていきたいというふうに今考えてございます。
0:40:17	次以降はですね、参考資料というところになりますので、詳細、こちらからの説明というところは、以上が一旦これで終わりとさせていただきます。
0:40:31	お願いいたします。
0:40:34	ありがとうございます。所長側から確認等あればお願いします。
0:40:43	管制介護って今、2月か2月くらいでしたっけ。稲村委員。
0:40:51	ちょっと確認なんですけど、ロジ的な話で、この、
0:40:58	申請は来年度の末までに認可取ればよくて、いつ申請するんでしたっけ。大体9月ぐらいを、9月ぐらい。
0:41:13	次回の監視委員会後っていうのは
0:41:18	来年度末に、
0:41:21	そもそも直径にはないかもしれないんですけど位置付けとしては、来年度末までに、
0:41:28	認可して欲しい案件になって、それを予告として、事前にこういうのを考えているって話をしてもらって、うちから
0:41:38	何て言うんすか、まだ申請はされてないんだけどもこういうことを、何か準備しといてくれとかそういう話をするっていうイメージなんですけどそれでいいんですよ。それで結構です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:51	だからその審査の作業期間としては9月から3月、要は来年度の下半期6ヶ月間で終わらせるために、
0:42:03	2月と後、何回関心会合があるかわかんないんだけど、何回か言われるんで、もう、
0:42:11	その中で、
0:42:14	来年度の下半期に出す案件の、技術的な論点とかあるんだったら事前に言っておくとかですね、そういう、そういうことでいいの。おっしゃる通りでございまして監視チーム会合一応2月想定で我々も考えてまして。
0:42:31	2月に向けて、菅主務会合の中で次回の変更認可申請の範囲であるとか、こういったことを論点として考えてるっていう。
0:42:42	基本的な大きな論点って、ナトリウムの搬出抜き出しっていうところと、それに付帯した性能維持施設の最適化っていうところこれが2台運転になるかと思ってまして。
0:42:54	そこら辺の話を監視チーム会合で出したいかなと思っておる次第です。
0:43:00	これ確認なんですけども。
0:43:03	先生ってのはこの4ページ、3ページ目でビルの方から、
0:43:11	大きく言って二つあってそのバリューだ鳥居の話と、名取より設備の解体っていうカテゴリー二つあって、パイプナトリウムのハウスの方は、
0:43:22	ていうか、
0:43:28	7ページ、7ページで、
0:43:32	この
0:43:33	先行をさせてナトリウムの方の、抜き出すとか反芻するのではなく、設備追加するんですか。そうですね。設備を、
0:43:44	追加するし、ハウスの工程っていうのはその中のルートみたいな話ですか。
0:43:51	ルートみたいな話。
0:43:53	で、
0:43:55	でもこれで非放射性あたりだからその、
0:43:58	いや伝統放射性ナトリウムだったらその、
0:44:03	新たに放射性物質を、
0:44:07	含んでいて、は、
0:44:10	下限となりそうなものを、ある所定のルートに新たに設置するんで、その安全管理とかどうするか議論があるかもしれないんだけど。
0:44:19	施工者性ナトリウムだからなというのはンス工程として、
0:44:25	設定するんだけど、
0:44:27	んなっちゃうんですかね、廃止措置計画認可申請上何か

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:32	審査しないとイケない話あるんでしたっけ。
0:44:35	放射性形になってるんで。はい。10条の許認可の適用で考えますと、
0:44:44	もしこー応来てくれて適当削り、
0:44:49	お盆時期大変主要地方へ対し関心が強い書きみたいな形になりますので、現状の冬季許認可のグレードで、設計しますと、
0:45:00	全部そっちの本文側の方に、うん。そこら辺をエントリーするかどうか、そこら辺ちょっとさしていただくと、そういう形になるかもしれません。丹治にそういうことでナトリウム抜き出しが1000万設備追加するし、
0:45:17	配管とかふやすんで、普通にやってる耐震とかそこら辺のやつを普通に設備としてやるんで、供用中でいってセット施工にする、そういった部類のものが廃止措置計画認可申請書ですと本文の後になりますそのカテゴリーでは、
0:45:34	通過する設備は続きは必要になるんじゃないかという、なるほど作家設備がオープンしてそれを確認して、
0:45:44	ぜひ操作性の鳥海右田氏設備と安全管理人、安全管理の変更社員。
0:45:55	そのうち私は廃止措置計画聞いてないみたいな話してますけど、この作業をするときに、安全管理の対応は多分、そのバケット無線廃止措置計画における安全管理。
0:46:10	相対効するんだみたいな方針はもう、
0:46:13	あるんじゃないかと思っていて、この
0:46:16	はい。
0:46:18	バルクナトリウムの半数に伴う設備が追加されることによって、
0:46:23	さらに安全管理を変更しないとイケないような話が出てくるんでしたっけっていう、ここはですね、議論をやればわかると思うんですが。
0:46:33	としゃ判断を第1回の不在措置認可申請書を行っておるには、当然本文5でも安全の方針もあります。
0:46:42	加えてその当時は、いろいろご相談させていただいて、本部長野参考資料みたいな位置付けで、その作業安全みたいな形のものをお付けしたと。そこは
0:46:53	内容が協議していただきながら、審査を受けながら、それをつけるかどうかという形の議論を、
0:47:00	大体もう諸般の出席がございました。その時にはかなり厳しめと、いろんな初めて作業を行うという形でございまして、かなり手厚くですね。
0:47:14	修正させていただいたという背景はございました。いずれにしろこれスペシャルな安全管理の章みたいなのが追加されるってイメージですか。いや本文ではそこまでは文化その本にそこまで書くか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:28	参考かちょっとね、どこに建てつけるかわかんないんだけど、安全、
0:47:35	いや、私は何が申請されるのかな。そう。設備と安全管理って書いて安全管理。
0:47:42	挨拶結果が見えない状態にしますけど、本文なのか参考なのか何かわかんないけど、どっか入戸そこら辺をされるのかっていう、おっしゃることはよくしまして、
0:47:54	私どもとしましても廃止措置計画のどこにどういったことを書くのかっていうのはこれ、今後の調整事項かなと思ってるんですけども、ナトリウムの抜き出しハウスっていうことについて安全管理がどうだっていう説明は、今までしたことがなかったとかそういうことで、そういう位置付けですので今後、説明を。
0:48:14	させていただいて、今どう反映していくのかっていうところをさせていただきたいなと思ってるんです。そう。そういうむき出し排出ってのは、通常はないので何かしてるだけなんですけどそこからそういうなんか外してたんですけど。
0:48:30	今ちょっと前幾らでもございますから、そのこの部分の安全管理が非常に慎重にやらなきゃいけないっていう側、どこにどういうふうにかかっているそうでてるかなと。
0:48:39	フェーズは変わらないということですよね。
0:48:43	搬出設備であるとか抜き出し設備っていうのも、そのナトリウムの抜き出しが終わる、搬出が終わるっていうところまでに一時的に使用する設備なので、それに関しては性能維持施設としてどう扱っていくかっていうのも論点かなと思っておりますので、
0:48:59	そこら辺も含めて、協議させていただきたいなと思っております。
0:49:05	ちょっとちゃうけどそれぞれの申請書は7ページでパークアトリウム搬送。
0:49:11	なかったんですけど。
0:49:13	バルクなプリント。
0:49:15	残留ナトリウムの回収の残ラドビル改修計画なので、その、
0:49:24	具体的にどういう設備を出すとかそういうのはまだ決まなくて、その、
0:49:29	方針みたいなのは宣言しますよっていう計画経過という言葉がでかいかもしれないんですけども、先ほど申し上げた通り、燃料移送ポンプだとか、
0:49:39	そういったところも、
0:49:43	改修を、に取り組んでいくと、いうようなところが、今、これは配置計画の中では何も記載されておりませんので、そういったところを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:55	少しイメージはして、計画認可してもらえないと詳細検討に入れないので、5 つってことですよね。
0:50:02	そもそもこういう、この計画ではそもそも走り防止も働くかわかりませんけどとか言ったら、詳細設計は理解はみたいんだけど、
0:50:14	こういう計画でいいでしょっていうところくらいは認可とったら、その詳細設計がおっしゃる部分です。
0:50:23	サンリン名取家は何なんでしたっけ。
0:50:28	例えばその 150 件あるんですけど、それをこれから、
0:50:33	全部福地西田の臼井おるんですけども、タンク自体が大きいですから、量的にはまともだったら、そういうものを、さらに回収しましょうということですよ。
0:50:47	どうですかね。いや計画だからまだ決まってないんでしょうけど、それでは少し治具とかはいいの実験施設等がありましてその解体の時には工事部の先にこう、もうちょっと
0:51:00	名取吉井君、安井梶をくっつけて、さらに注意して残り数キロとか 10 とかそれぐらいまで落として、
0:51:10	どうしても何か、吸ったり、
0:51:13	回収しますみたいのを宣言してもらって、引き継ぎの 3 日申請の時に耐震クラスが、
0:51:20	麻生委員。そういう段ですが、耐震クラスっていう。
0:51:28	がちよっと論点になるかどうかというところは、あるかと思えます安全、当然抜く時の安全管理が必要かなと思えますそのあたりをどういうふうにするかとか、そういったものは本部。
0:51:40	工事がされて、より詳細の設計の取り組みはなしに認可して必要であれば本部までお出しすると、そういう法律的な文化審査がそういう段階にステップを踏んだという認識が大きいんです。
0:51:55	堀野許斐さんが前、ちょっとここ、
0:52:03	もう 1 個、2 ページ、そんな、今回、東郷です。
0:52:11	2025 年 3 月 3 日目標でやろうというのは、二次メンテナンス冷却系を解体すると 20 戸の認可を、
0:52:23	を得ることができたら、現場の、
0:52:26	実際の解体、これに向けて動きたいというふうに考えてございますので、改善方法はみんな取ってなかったっていうのが当然なんです。これは本文の方のところに、
0:52:39	解体というところで各安全管理上の措置というところとセットで、変えていくのかな。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:47	イメージ。
0:52:50	なんで解体方法が今まで認可物件を立ち上げなくなったら、さっき吉池麻生。おっしゃる通り、先送りにした感じで麻生段階ごとに検討していくのでそのフェーズになってから、除名の解体については、
0:53:06	検討を着手するまでに検討して欲しい、お示しするという形をとってもらおう。
0:53:18	金融の羽鳥が付着してるものです。
0:53:26	付着をしていますが、装置自体が設備上ものすごく小規模配管は1人これぐらいです。これがマクログループで、配管が一つ。
0:53:39	これを対象とします。それそのものが、藤さんなんですかね。ナトリウムを扱う場合に、要は取り扱いを簡単にするために、安定化する生産がトレーニングするのか、カーネーション。丹さんなんかとこの設計。
0:53:58	増大するか。それは、一般的な大口徑でたくさんついてるものを対象にするんですが、
0:54:05	今の水に関する冷却系は、何ぼ安定化しなくても回答できると思ってます。新しい杉野ってことが、口径でなく、
0:54:15	これもですけど、これぐらいとこれぐらい安くなるものを、
0:54:18	安全にやるということに関しては、この1、1日ぐらいに、外径34年ぐらいの配管の中の、換算活動を組み込んだ、石灰化したもので、
0:54:30	まず作業やってみようとか、そういった形のものは、ちょっとチャレンジをして、布田と間瀬を通して、経験を積んで、貢献が大きい大きいものだと、こっから順次、6万ぐらい。
0:54:43	そういったものに、ちゃんと段取りを踏んでやっていきたいという。というような形の趣旨で今回はそれをまず一つ目ですね、終わらしていただきたい。
0:54:53	というような考えました。はい。
0:54:56	安全社員と普通の発電所に解体すると普通、おんなじやり方でもできちゃうってことでいいんですけど。基本的には。ただ、軽水炉さんが除染をして、そのあと、
0:55:10	まずけれど、
0:55:11	安定なする種類に応じて、そこに粉体が出るならば粉体の回収とかです、回収が終わってるものを考え物の回収だったりとか、
0:55:21	生産は努力の状態期待ですからそこはもう金策かもしれませんが、安定化の状態、それは人体に窮して基盤ではなくて、危険物としても、すごい、形のものは多少あると思います。あとは副主任とか、そういった数字。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:40	法制の採決の種類が多少軽水炉とは違う。
0:55:53	発言者全く数字。
0:55:56	汚染して、月にハウス作って、層理はちゃんとするんでしょうけど。
0:56:01	近い。
0:56:02	いろんな機械的だとか場によっては同じで聞いてきますっていうことなんだけど。
0:56:09	図だと、安全化してるんだ。
0:56:11	欄が何が違うんですよ。今のその流れの時代はもう化学的に活性なので、例えばその空気に触れていると長開始して、変化して、状態が変わるとか、発熱するとかっていうのがありますので、安定化処理して、
0:56:28	科学的に復活せなくてくってというのが基本です。そこを別にうちは考えております。そこが大きく軽水炉とは違うと思う。
0:56:38	そっから学の作業っていうのは、今おっしゃったのは、
0:56:42	じゃ、土佐名取こうな。
0:56:46	こうしちゃうと、放射線被曝との関係じゃなくて、
0:56:50	周辺環境影響を受けないといけないよねって安全管理。
0:56:56	今の話。ただ、ひよっとしたら発電所を変えたいと、結論としては同じかもしれないけどそんな同じかもしれないんだけど。
0:57:06	勉強としては、プラスオンされない。うん。ありがとう。はい。
0:57:16	清名取委員の、
0:57:19	整備計画ってのがわからない。
0:57:24	二次、将来、二次系の、を解体してった、解体した後ですねそれを、実はタービン建物、
0:57:35	ある程度の大きさで、持ってきて、さらにそこで、ここにある通り扇状と、そこ多分縦の中でさらに細かく、
0:57:46	洗浄できるサイズまで、切って洗浄していくと、非放射性はそういうところを今、計画していますので、その度に持っていく、物流、
0:57:57	その整備、
0:57:59	計画。
0:58:01	銀放射性学院設備解体するときに、タービンヘキサンとか洗浄設備、そっち延長であるとか、安定化処理であるとか、そういったところに持っていく普通であったり、
0:58:15	そっからISOタンクに入れたりして、再愛想タンクを生涯に搬出するであったりそこら辺の物流のルートを勧告してかないといけないという話の物流として全体的に書いております。
0:58:28	それを申請する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:32	今私が聞いた後も、
0:58:35	宣誓しますっていうことでもいいですねその他何かあるんですか。ここに持って、そうそうそう。
0:58:42	幾つかございましたっけ。こいつ燃料池の須藤ですね今、燃料池の冷却が十分にされてるっていう状態で、
0:58:53	今年の夏に燃料池の温度測定をしまして、夏の期間、冷却を止めた状態でも、温度が一定の温度以下で保たれるというのを確認できましたので、
0:59:07	それも含めて冷却告示の方と合わせて、そこは対応しようと思っております、そこら辺に付帯した、性能維持施設、燃料池の冷却が不要になるまでとしていた6-1表のものについて削除の話であったり、
0:59:24	それ以外の関連設備について、削減していくっていう話と、ナトリウム、
0:59:31	搬出設備抜き出し設備、農性能維持施設にするか否かっていうところの話が、これに負担して出てくるもんです。まだ燃料燃料域温度下がってきて、
0:59:45	結構冷却効果上どうせかかる設備を避けるやつをやると、そういう鳥居から麻生です。
0:59:55	延暦寺はこの開設計画で、
1:00:01	朝来るやつが終われば、冷却告示の手続きにいけるかもしれない。別で進めております。工事告示は冷却告示で取る時には、或いは国じゃなきゃ。
1:00:14	連絡久慈。
1:00:16	送る時に、田井措置計画においても、設備エントリーからも疲れてるっていうのはあんまりもう関係なしに、冷却材冷却、各国指定と聞いております。そうですか。
1:00:32	ブラッシュアップ性能維持施設は、何があつてさ、下水施設でいうとその燃料池の冷却が主、完了するまで冷却が不要となるまでとしている。6-1の性能維持施設について。
1:00:46	DGであるとか、それを冷やしている原子炉補機冷却水系であるとか、そういった付帯設備が同時に削減できると思います。
1:00:57	そういったところを削減していこうと思っておりますので、そこも大きな論点かなと。
1:01:04	他はあります。性能維持施設、先行冷却の削減と、
1:01:11	個別の解体でいきますと、今すでに廃棄対象施設におけるディーゼル発電機が1個あるので、それももう解体に向けて動こうと思っております。これも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:23	大体まだ本文 5 のところにですね水蒸気系の解体撤去とかと、こう並ぶ形で書くのかな。それは今考えている。
1:01:35	ところですね。
1:01:38	全部ですかね。大体そんな、主要なところは今申し上げた通りで、そういったどこが申請する箇所なのか変更範囲なのかっていうものについては、第 2 回以降の面談で改めてお示ししようと言っております。
1:01:57	これだけ見てもちょっと具体的なところはどこなのってわかりにくいところがありましたので、そこはちょっと追加で説明させていただこうかなと思っております。
1:02:20	すいませんなんかもんじゅから補足か何か追加でいたことあります。
1:02:31	今井久我君なんて違う。
1:02:38	あ、失礼しましたもんじゅ開設計画の沢崎です。特に補足することはございません先ほど申し上げた通り次年度の申請というのは細かいことが今日説明資料でははっきりしなかったところは、また改めて資料化して、
1:02:54	ご確認いただきたいと思っております。
1:02:58	はい。
1:03:06	ですか。今のページですと、抜き取りとか抜き出しとかでこう、
1:03:17	定義を分けられて書かれてるんです。多分、これは抜き取りっていうのはもう今、既設のタンクに大部分抜き取られている状況ではあるんですね、スマートは。
1:03:31	出野野中と。
1:03:40	ありました。
1:03:41	これそもそも既設タンクに、建てる時でどう、どうやって入れたんですか。建物建てだな。だって慣行入れて手帳をつくってるんですよ。建物躯体があったら、
1:03:54	そういう数学っていうか床をスツウェイ作る前に全部機器を入れて、はい。全部ケンチンの構造から公開を作り上げて、1 ペーパー的な下げたって言われて、建物側ができたなら、とりあえず入れて。
1:04:11	天井面はそういう方向でいってという感じでございます既設タンクに 1 人のルートはないないんですか。
1:04:21	梅木鳥井の赤松城野宇都ちゃんとなっております。それをまた別の荒田三国断層ですねまだない。
1:04:32	会館ですからそれぞれのルートはあるけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:36	一重先がないってことです。最後名取国に名取を出していくためには、国際規格の入所のタンクというものをを用いることを今考えておりますのでそのタンクは、
1:04:48	飛び越えから設置して、そこにつなぐ。
1:04:51	配管は今ないので、そういったところは、改造工事。
1:04:56	圧損されたのは
1:04:57	その時に戻ってきましたか。それで受け痙攣の際に多分兼子谷口みたいなものがあるんで、そうなのかなと思ったんですけど、供給設備って今休止使ってた供給設備ってのございまして、もう同じISOタンクでフランスから持ってきたんだという、
1:05:16	1回バッファタンクに転送供給設備、それを今後もんじゅをタンクのごみに移していました。もうそれはもうすでにもう今使ってないし、随分昔の形ですから、
1:05:28	それをまた新たに復活させるにはどうすんのっていう世界です。そういうことをこれから考える単位であります。本当そのルートは、各エリアで全部確認してますので、一次系なんかの抜き取り方法ISS多く容器に移送するときはその、
1:05:46	今ある等の説明、説明があった件を、三、四十年まで敷設された以降全部撤収してBと扱うされてますから、配管敷設して、そういった形で活用しようと。
1:05:58	既設の方はもう側を迎えますので、
1:06:02	隠したかというふうに思っております。
1:06:06	かなり、
1:06:07	来年、結構行かなきゃいけないのかなと思ったけどそういうことでもないってことなんですかね。あそこはそんなに難しくはないから、ルートの確保があると思うが、現場のほう、とっております。内訳については、今の既設のタンクのほうは、
1:06:22	大きいぐらいあるんですけどそれでもまだ40秒ほど入らなくて、それを固めるために一時保管タンクというのを1回設置してます。それはこの二次系の配管市の方から引っ張ってきて、そこに
1:06:34	今、長寿命あげてるんですけど基本的にはそうを使って、同じように変更、抜き出すところを作るということであればと思います。
1:06:46	タンクISOタンクっていう間の配管を引き回して、それ、その状態で、固まったナトリウムももう1回有力に、
1:06:57	付加して、それをそちらに移すという作業になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:05	7 ページの 30 ナトリウムの改修計画の中には、その安定化の内容も含まれる検討安定稼働型系統別なので、これは単純にイギリスに出す。
1:07:19	名取宇津の製造部の、それをイメージ。
1:07:29	安定化を意識する話はいつごろ出てくるかっていう、管理維持メンテナンス冷却系の解体方法の中で、安定化、使い、炭酸塩下方の、
1:07:41	安定が今考えてございますので、その中で、出てくることになります。最初の工法自体は、
1:07:49	その目指しとしてどんな方法があってどういうふうにして、同じ覚えませけど、二次系の機器の解体の前処理として安定化させるという話になりますけど、この中では大柿さん、そうずっと 2027 年 3 月目標ぐらい決定。
1:08:08	ないような、具体的なその地形の解体地形解体として、
1:08:29	院長補佐ですけど、
1:08:30	すべからく構造、次の申請に登録される設備。
1:08:37	耐震クラスとか、すべからく低いんですよ。
1:08:41	CとかBとかそういうあれはですね、今、うちで考えてますのは、B括弧ですって言われてる、民間ベースで何か許認可上さしてたんですが設置者としてはSで、
1:08:55	設計するしかない。なるほど。そこは、当然危険物的にはそれが漏れると、やっぱその影響は、危険物施設車とおっきいので、極力設置者自習の努力としては、
1:09:11	負わされ、やっぱ構造に、設計は要求事項としてすべきではないかという形の姿勢で、今検討を行ってる。
1:09:22	いや、これやれば、
1:09:24	シードをBともそのグレードかなと思うところあるんですが、逆に、漏らさない方法でまずはしっかりやると。
1:09:36	ほんで、そこはうちらもやっぱり、要求事項としては大丈夫っていうところ。
1:09:44	岩井。
1:09:46	耐震計算書、
1:09:48	考えていけばいい。ここ 5000 万円とご相談なんですけどB括弧でちょっとBで、基本的にはつけますけれど、
1:09:55	供試量で、Sをつけることができる、そういう実力もありますよというところもありますよっていう形の見せ方の整理になると思います。
1:10:05	多分、ちょっと私も、うちの審査書見てないけど、多分B括弧Sで大丈夫でしたっていう形で多分終わって終わってるんじゃないかなと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:15	思うんだけど、何かしら、位置付けはわかんないですけども。
1:10:21	なんかテープなんかは、
1:10:24	規制庁がいいと判断しました。隔離として、Bの話と、SSの話も含めて、もう大丈夫でしたってということで会見も上がって、推定したんです。
1:10:38	従って審査としてはいや、申請書のグレードは違うんだけど、Bの話を確認しないとイケないし、Ssの耐震計算書を出されて、
1:10:49	一応確認して、良いですっていうのをうちの作業としてやらないとイケないのか、ひっかけるかそ、その理解でいいんですよね。それはそのデータを大丈夫ですよね。
1:11:06	直されエスカーに改編で、
1:11:13	そこら辺の安全設計に対する考え方についても2回目以降でお示しいたかなと思っております。
1:11:24	設計に対する考え方と、運用に対する考え方と、
1:11:29	お示しいたいと思うんですけど中園館野排出のバス停なんか説明資料は今準備しておりますので、それをまずやらしていただければというふうに考え、
1:11:39	本児のSSは結局、バックチェックと、
1:11:45	美浜、
1:11:46	D、
1:11:50	有識者会合とか見ても別に大丈夫だったんで、バックチェックと美浜の基準地震動を使って大丈夫だよってということで多分使ってる。
1:11:59	ですよってということですよ。
1:12:02	よく祖母一派
1:12:04	バックチェックの基準地震像なんでしたっけ。南。
1:12:09	浜口
1:12:12	伊勢さん。
1:12:17	地震動や、
1:12:19	第1回申請の時には1Gをしてもらいましたので、それはB確立力の一次で、提出すべしという話になっております。
1:12:31	それは、一次系統耐震計算書の方を合わせていきますと、そういうことなるほど。一次でいらっしゃるそうです。はい。
1:12:39	それはBではなくて一時でも言ってくださいという話の話になりましたので、はい。
1:12:46	今回ビーカ公園数がどういう。
1:12:49	ベースでも、一次なんですか、メーカーコース別途ですがそれは、その山のものです、一応評価する幅で評価するという形です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:03	美浜は今どうなってるかわかんないですけど、やっぱり
1:13:13	青柳形があったんですね。最初、Bの中で持ってきて、はい。堤十河 県知事聞いたんですけど、多分行った人があんまりね、対象とこれになる と思ったら助かるんです。
1:13:28	ちょっと今回連絡、コミュニケーションとって、はい。
1:13:32	すいません。ちゃんとこう確認する予定である比嘉主席技師ないといけ ないと思うんです。行った方には、場所がないと思ったなあと思います。
1:13:45	ぐらいしかない。
1:13:48	稲見山野美浜。
1:13:51	ちょっと標準落とせるところ。
1:13:53	ですけど、結局美浜の基準地震動、下は変わってないんですね。変 わってないと前ですね。深山とかアルミ幅をのって作った分上の基 準地震動、
1:14:05	ちょっと修理会社商品。
1:14:08	いや、基準地震動ではない。それを見てっていうか、新規制基準を申請 するために、もともと文字で用意してた。
1:14:19	仕事があってそれを使ったと私理解が大きく違う。いや、宮崎さんに聞 いてます、思います。そうです。
1:14:28	確かに計画があると、13ぐらいだそうです。
1:14:38	いや、それは責任者とか、
1:14:41	利幅っていうのが頭にあったんでね標準を取っていくんで変わっちゃっ てると、変えないといけないから、面倒だと思ったけど、もう門司大向あ れば別に他の要因は気にせずに、本事業の、
1:14:55	基準地震動を使ってB括弧ベースで作業すれば、
1:14:59	いいよねっていうことかなと理解したら、幅野麻生深山じゃないですよ ね。そうですね。やり方です。そうですか。なるほど。
1:15:13	もちろん、耐震化の審査を受けてなかった。
1:15:23	ですからこそ、焦点とするところは、
1:15:27	今有賀さんの方、アドバイスになりましたけれども、西系の方はですね一 次系の方の、まず今日までですね、要は格納容器の中から、的場に持 ってきたルートその部分は、
1:15:42	ある意味、いろんな管貫通部とかユニットがあるので、その名対策は 基本行われると思います。
1:15:49	いうふうに考えておられて、佐田的場を漏らさない構造で、まず規制当 局から見ると、それを漏らさな交流をどこまで考えるかということがあっ たときには、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:02	ある種ちょっとビートベースでは、詳細設計のグレードも全く、
1:16:08	スタッドボルトん中 5000 実は 60 センチになったのは全然、飛躍的にもうグレードが全然違うので、そこら辺の差異要因対策、評価上、
1:16:22	どの箇所とかいろんな評価をしますけれども、漏えい対策としての、
1:16:25	ハード工事は基本的には、行わない方向のところはしたいっていう形を漏らさないでいくという進め方でないかなというの社内、
1:16:35	これも御説明も含めて、
1:16:37	一番させなければ、お話はそういうふうにしないと、逆に漏れるという前提があったらいいんだそうです。はい。それがね。ちやう。だから、
1:16:50	売れないっていう積算としましては成功しました。その記録を確認するというふうにいかないと。はい。仲根井良くない。
1:16:58	それはすごくいいと思うんですよね。その場合、B括弧Bなくなるとですか。じゃなくて。いや。カッコいい。
1:17:09	やっぱりその設計と運用のTバランスがあると思ってまして。その運用をいかに簡略化できるかっていうところは設計でフォローするしかないかなという。
1:17:20	ところの考え方で今そういった、
1:17:23	B格Sでやろうという感じ。
1:17:26	一貫性しゃべりベースでないという説明は簡単だと思うんですけど、次にするっていう説明出してください。
1:17:35	死んじゃなくて、施設の東、その病棟が、グレードでまず設計は考えますと、7年ということはします。だから、純化系というのは、纈纈加瀬がびっくりしましたね。
1:17:48	それにくっついてるものです。よろしいですね。業務課っていう、文献段階の
1:18:02	耐震クラスの考え方を3万って言いました。はい。そうですね。そうですね。
1:18:14	違う。うん。なんかすごいな。そうですね。
1:18:22	説明お願いいたします。充実した方がいいと思います。
1:18:30	大変。
1:18:38	落意味そうしちやう。
1:18:44	そう。いや。
1:18:46	(工)
1:18:47	ですか。
1:18:48	名取宗。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:51	しちやえば終わりなんですよね。そうですね。後に移送されてなければ、もう1回何か。
1:19:05	いかんですよ。31年、30、
1:19:15	石岡先生かどうかわかんないけど、加瀬先生の方もちょっと結構厳しい審査があると思うんです。
1:19:23	場所的にもよくとかね。
1:19:27	ゲート感知器、齋藤首藤先生、加瀬郷。
1:19:34	加瀬さんも大分関心しますじゃないかという気がしてるん株式がね。後、厳しいですね。
1:19:43	復旧関係ですよ。そうしますよね。そうです。だから、そうもない設計する。
1:19:51	でも、
1:19:53	これ
1:19:56	思います。
1:20:01	歳出はこの門司の審査に関与したことはあるんですか。はい。ない。
1:20:08	廃止措置ですから、
1:20:13	どちらかと言えば消防の方ですかね、NHKの前に、1人の時の形が違う消防法、最終的にはそうなんだけど、ぜ、自分たちはここに行く前にやっぱり河西しましたね。
1:20:28	祭りっていう企業で発行すると思うんですよ。だから、私は厳しいなと。お願いします。
1:20:39	憶測できます。最後、わかりません。
1:20:44	確かに、
1:20:45	雑談になってきてますけど。
1:20:48	東海再処理、今、有吉から申し上げた通り、
1:20:52	措置段階なんだけど、
1:20:56	運転段階中に近いような作業も、
1:21:00	長きに渡るので河西杉と宮前に転入の管理課をできて、河西菅井見ているっていうのはありますけど、ただこういうその、
1:21:11	テンポラリーな、名取ねって特殊性があるんだけど、憲法にな作業なので、特に聞いちゃってんじゃないのって話もあるかもしれないし、ちゃんと家財数に、専門家の間前から火災を受けてもらえていくとなると、
1:21:27	体制が変わったりして、やっぱりナトリウムを、通常モード状態から移送するんのかつ解体するって作業について、
1:21:37	火災対策上も大丈夫かってちゃんと確認清宮と言われたら、
1:21:43	田崎さんに来てもらって、見てもらうと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:47	或いはそういう対応しますけど、でも今、東海再処理で火災室見てもらってますけど、すごいやっぱここ細かい経過、
1:21:57	許認可の基準適合性というのとは別にその、
1:22:02	斎藤の関係で大丈夫なのかって感じでいい。
1:22:06	そうだった。
1:22:12	これは消防の位置付けてどういう形なんですか。ちょっと今、理解してないんですけど。
1:22:20	新規制基準から 80 か。
1:22:23	審査ということで、旭です。お願いします。障防法
1:22:30	消防法なんてあれする原子力施設だから、プラントは消防法だって本当は炉規法の審査はそうなんですよ。
1:22:37	東京の中で、結局いろいろ考えて、ちょっと障防法レベルでいいという判断をするかしないかという。なるほど。なるほど。場合によってはその追加の期間ですね。
1:22:49	複数の感知器を立てつけなさいと、地震から動くことによって予定規模から安全停止機能ですね。そこをちゃんとここに、
1:23:00	人勧要求が全部あって、火災防護指針ってご存知ですかね、ああいう要求なっております。それとは別にこれまで皆さん消防と消防とやってきたのかな。
1:23:13	地元消防には、例えばここ、ここはこういう理由でね、感知器をつけなくていいですって地元消防団するのはそれでいいと、いうようなところもあると思うんですけど。
1:23:24	河川敷はまとめるとまた仕方ない形での審査です。ありがとうございます。なるほど。今回は、八条じゃないですよ新規性基準ぐらいから、結局消防レベルになるかもしれないんで。
1:23:37	それはまだわかんないすよね。結局、その審査方針って中で相談した時に、もうそういうレベルでいいとなればもう、
1:23:47	消防士、そういった意味では消防でどういった規制を受けてどういった検査を受ける方だとか、そういう感知器の設置についてどう考えるかっていうところは、消防とうちはもちろん、今、今もうすでに調整に入ってるんですけど。
1:24:05	そういった結果をお見せするっていう必要はある、あると考えていいですか。それはいいですか。
1:24:13	その説明だから。
1:24:16	の段階の御説明町からもう少し詳しい、Q&Aの取り扱いの方ですが、1人でもありますけど、今ISOいうISO企画容器等、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:27	一つの取り合い、抜き出しを新設する配管は、新設はほぼ、溶接構造なんですけど、ISSをキノコの規格のものは、或いは増設構造で、数学わけない。倉地工場でこの箇所だけは、
1:24:43	だから溶接構造というのは、一応基幹基準の構造と技術基準に基づいた設計しますけど、ここはやっぱり漏れることは当然想定をして、グローブボックスみたいなですね、何かを窒素雰囲気にして、
1:24:55	様々な作業をして、多少にじみが出たとしてもその中で窒息消火ね、何の影響はありませんっていうことは当然あって、
1:25:07	合わせて、他の設計をまわして、ちょっとご相談させていただくというか、できる限りのものは、そこはね最大リスクはここにある、ここはここです。
1:25:17	対応しますとか、そういったのがありまして、聞いていただければさ、さっきの配管の引き直し溶接構造の引間首藤、漏えい検出か何か、或いは金利監視協会作ってしまう。
1:25:29	それが全くついてないとするとね、何か聞いたな。
1:25:34	今日
1:25:37	そうするともちろん売れない、設計やってるんだけど、そんなもん、そういった場合にわかるよね。終わった時に行けばいいよねって言ったら、スタートができないじゃんね。
1:25:48	そういうところで、私の中では最終的に進んでちょっとそこは、建築等あるとすれば何名、JSOC野村證券がないから、皆私ホテル少なくともでしょ。うん。のつとるすごくエチャバリ赤字がちょっと。
1:26:05	CT、天井に通るルート、そうそう高い位置っていうのはわかるわけだから。
1:26:21	それはちょっと確認をしておきます。はい。杉ですけど、距離があって、するっていうのは、ちょっと次回以降の説明にそこら辺の基、
1:26:36	建築関係の話も盛り込んだ形の今用意してるのはまだ盛り込んでなかったなかつたので、追加して説明させていただきます。どうぞ。
1:26:46	それやらないといけないんだと。
1:26:49	プラントの種類全然違いますけども、
1:26:52	東海再処理、笠井さんに入ってもらってますけど、全部類型化させて、1個1個のシナリオ、ちゃんとタイムチャ全部関係ですけど、どこに設備だからやらせて、
1:27:05	既設オクケーだからいいってロジックがあんまり通用なくて既設でもいいんだけど、いけるのかっていうところまでちゃんと説明するのでやるとかいうのも結構あるからちゃんとやろうということです。
1:27:20	今参画してないので、ぜひ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:24	ただ葛西委員、
1:27:28	いろんなところで今、門司少し何か、
1:27:31	盛り上がりかもしれないから、いや、いや、倉内大串さん、消防じゃないか。
1:27:43	丹治矢野。
1:27:47	第二段階の
1:27:49	後半の
1:27:51	家の笹田戸井田。
1:27:53	葛西のやつをちゃんと、何か考えてる設計を、今、一つの例でおっしゃって、例の環境ISO、麻生とか、
1:28:04	再溶接できない議論ボックス入れて、もしあったとしても、何とか設備ちゃんと言って、人がいてちゃんと消化できるか大丈夫なんです。
1:28:15	一連の。
1:28:17	軌跡と違うはずなんです、既設の運転用と違うことを抜き出すっていう、違う、もう。
1:28:26	数っていうんですかね。
1:28:27	段階で異なるような作業がその時、課長。
1:28:31	放射性なったり、
1:28:33	全然
1:28:36	考えても、
1:28:38	考えてるんだったらちゃんと出しちゃうとか。
1:28:44	世の中の人に特性もらえると。
1:28:46	思います。準備はしといた方がいいかな。一応今日ご説明した11ページのところの漏えい対応というところで、まさにハードだけじゃなくて、ソフトを組み合わせで、
1:28:58	やっていきますというところも示して、ここでは文字、文字情報だけなんですけど一応示し、その辺りも、次回以降、
1:29:06	具体化を少し具体的に説明できるかと思いますので、その時にご説明いただきたいと思います。
1:29:18	最終的には、
1:29:20	はい。
1:29:41	機構側から何かありますか。
1:29:47	すいません。
1:29:49	武市ですけれども、どうぞ。今日第1回の面談ということで、何とか話を聞いていただくお時間いただいたんですけれども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:01	監視チーム会合までにはですねご説明することがかなりたくさんございまして、
1:30:10	学校側としてはですね大体は七、八回面談をさせていただきたいなと思っているところです。
1:30:20	取っつき、お忙しいところ、大変恐縮なんですけども、できればですね、曜日を定めるなりして、
1:30:29	定期的に面談が設定できれば、
1:30:32	作業のその段取りもスムーズにいくので、いかがかなと思っているところなんですけども、1週間にいっぺんぐらいそういう形でさせていただくわけにはいきませんかでしょうか。
1:30:48	規制庁佐田ですけど、これは稼働なんですけど、ちょっと逆算で考えて2月の方、ちょっと会合をどこでやるかわかんないですけど、2月の。
1:31:00	中旬とか下旬なんだとすると、うちとの関係がその下部とか言い回らないといけないからその、資料のセットするのは多分、
1:31:11	2週間前とかぐらい。
1:31:14	終わってないといけないからそうだと多分なっちゃったりはできないんじゃないか。もうちょっと回数が減るんじゃないかっていう、ちなみにうちで想定してるのは後、4、四、五、四、五階ですか。大杉岩下加瀬に合わせて、
1:31:34	1月10日5回やっていただければいいなと思っていて、ナトリウム関係のもので、2回、あと性能維持施設関係のもので2回程度を想定しまして、プラスで曜日で1、1回ぐらいで、5回ぐらいかなと思っております今。
1:31:49	そうなんす私からご提案ですけど、ちょっと10月からやりませんかその、今、1月からってことだったんですけど、1月4日月までにこちら11月までにはわかりますよね。1月までにいるので、
1:32:04	どうも。
1:32:05	12月から定期的にやって、8月中に終わらせるぐらいのスケジュール感だと思います。
1:32:13	それで、12月の4日の週から、
1:32:23	5回ぐらいを想定して、面談をさせていただくという形で、進めるということではよろしいですか。具体的な曜日とか予定とか日程調整は、
1:32:34	個別飲食別で面とかしていただければいいというか20分。
1:32:38	そのときに第二課計7日での遮へい体が今なんかなくなってるんじゃないんでしたっけ。その話はしないんですか。菅人材。
1:32:48	最終会合で、今、することにはなるとは思うんですね、各館に。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:59	学科が毎回その1名は出てもらってるんで、その廃止措置計画の話であれば、検診なんですけど遮へい体の話はさすがに各課にも来てもらわないといけないから。
1:33:11	その2月にやるんだっつと遮へい体の話はもうけりがついてんでしたっけ。
1:33:18	大瀬作業終わりオンゴーイングなのかこれから作業計画書は当然と申し上げられるのは今調査中で、現状内部観察をするのが21日に設定されておりますので、
1:33:34	それ以降に調査結果が出てきます。それからそその調査結果を踏まえた復旧スケジュールになります。改めてお示しできるのはそれ以降のタイミングかなと思ってます。
1:33:47	2月の開店とシェアはさすがに、皆さん周知の技術がそこは慣習の一つとして今こうなってますって話をしてもらって、
1:33:58	計画の話終わりました。
1:34:02	その時はちょっと下面談のメンバーをちょっと調整しなきゃいけないので、それは調整しましょう。
1:34:12	ぐらいですか。管理部アイテム。
1:34:21	このパワポ拡充する話と、あと、遮へい体のやつだけですか。
1:34:27	かなと思います。昨年度からのアップデートはそれだけですか。そこ、どっかに段階始まりましたっていうのは、アナウンスして参画状況の話は、
1:34:38	するべきかなとは思うんです。はい。今進捗しております。今のもんじゅの現状の話、プラス、廃止措置計画の変更の話。
1:34:51	当間さっきおっしゃってた最大の今中断の話、この三つぐらいかなとは思ってます。
1:34:58	二つ前現状らっしゃって前回の関心以降のアクティビティがちゃんとある。
1:35:07	フェアでもあったりしたイメージは、
1:35:14	じゃ他よろしければ以上でメンバーの方を終了します。どうもありがとうございました。ありがとうございました。よろしく願います。ありがとうございました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。